

〔参考文献〕

参考文献は多岐にわたり、なかには出版されずに研究所や企業の内部資料とされたものも多く、それらの資料をすべて記すことは不可能である。なかには絶版となっているものも多いが、ここでは一般的に閲覧可能な書籍と定期刊行物に所載の論文、解説文などを、以下項目別、年代順に列記する。なお、本文中の脚注番号を各文献の末尾に記し、その出所を示した。

1. 日本で出版された単行本

- 工藤宏忠編『中国大陸の石油資源』アジア経済研究所、一九六六年。
神原 周編『中国の石油化学工業』アジア経済研究所、一九六九年。
矢吹 晋編『中国石油―その現状と可能性』龍溪書舎、一九七六年。
マイヤーホフ、ウィラムス共著、斎藤 隆、神原 達共訳『中国の石油地質と石油産業』日本貿易振興会、一九七八年。
セリグ・ハリソン著、中原伸之訳『中国の石油戦略、大陸棚石油開発をめぐって』日本経済新聞社、一九七八年。
神原 達・斎藤 隆・平河芳彦・山内一夫著『中国の石油産業』幸書房、一九八五年。⑧

神原 達編『中国の石油産業』アジア経済研究所、一九九一年。⑤

神原 達、小川芳樹、杉森康二編『中国・ロシアのエネルギー事情 Q & A100』亜紀書房、一九九五年。

神原 達他「中国の中長期石油・天然ガス需給見通しと開発政策」(財) 日本エネルギー経済研究所内部資料、一九九六年。

茅原郁生編『中国エネルギー戦略』芦書房、一九九六年。

神原 達他「中国の東部油田地域における原油生産予測」(財) 日本エネルギー経済研究所内部資料、一九九七年。⑥⑦⑫

申力朱主編、猪間明俊訳『中国石油産業史』創栄出版、一九九八年。

堀井伸浩「エネルギー・環境問題の中期的展望」(栗林純夫、高橋 宏編『中国における持続的成長の可能性』東アジア研究叢書2 第4章、人と文化社、一九九八年、七五―九九ページ)

「石油代替エネルギー計量分析調査」(財) 日本エネルギー経済研究所、計量分析部内部資料、二〇〇一年。⑭

『中国の石油産業と石油化学工業』各年版、東西通信社。

2. 日本で発表された論文、解説など

神原 達「中国の石油産業」(『石油開発時報』No. 24、石油鉦業連盟、一九七四年、一五一―四一

〈参考文献〉

- ページ・アジア経済研究所、昭和五〇年度優秀論文賞受賞論文)
- 神原 達「中国の石油開発、問題多いが前途は洋々」(『東亜』二三〇号、一九八六年八月、一〇—二二ページ)
- 神原 達「大慶油田再訪記—一九八六年夏の記録」(『石油開発時報』No. 71、一九八六年十一月、三一—四九ページ)
- 神原 達「難題を抱える中国のエネルギー事情」(『中央公論』七月号臨時増刊「中国ビジネス徹底研究」一九九四年七月、九四—一〇三ページ)
- 小川芳樹「過熱する中国の石油の現状と課題」(『国際エネルギー動向分析』No. 209、日本エネルギー経済研究所、一九九六年六月)
- 郝燕書「中国の経済発展とエネルギー産業政策の展開—石油産業の事例を中心に」(『明治大学社会科学研究所紀要』第三五卷第二号、一九九七年三月)
- 浜 勝彦「改革・開放期における中国の石油産業の展開」(『創大中国論集』創刊号、一九九八年三月)
- 郝燕書「石油化学産業の現状と課題—SINOPECを中心に」(『国別通商政策研究事業報告書—中国』アジア経済研究所、一九九八年三月、二七七—二八七ページ)
- 神原 達「中国石油産業の再編とその意図するもの」(『国際資源』二八七号、一九九八年十一月、一六一—二二二ページ)④
- 横井陽一「中国の石油／石油化学産業の組織構造改革と市場経済化ダイナミズム」(『中国経済』No. 397、日本貿易振興会、一九九九年一月、八四—一一三ページ)④

- 郝燕書「中国の石油化学産業再編成に関する一研究—SINOPECを中心に」(『明治大学社会科学研究所紀要』第三七卷第二号、一九九九年三月)④
- 小川芳樹、平山直「中国石油産業の再編成と石油供給のオプション」(『エネルギー経済』日本エネルギー経済研究所、一九九九年四月、二一三〇ページ)④
- 郝燕書「石油・石油化学産業—国家介入下の発展と再編」(丸川知雄編『移行期中国の産業政策』アジア経済研究所、二〇〇〇年、一六五—二〇二ページ)④
- 谷本誠司「中国石油産業の再編を巡る最近の動向」(『ペトロテック』第二二卷第一〇号、石油学会、一九九九年十月、六八—六九ページ)
- 神原達「北東アジアにおける地政学とエネルギー展開」(1)(2)(『エネルギー・資源』エネルギー・資源学会、第二二卷第三号、二〇〇〇年五月、六一—七一ページ、第二二卷、第四号、二〇〇〇年七月、八一—三ページ)⑮
- 神原達、三関公雄「天然ガス指向を強める最近の中国」(『石油／天然ガスレビュー』第三三卷第三号、石油公団、二〇〇〇年六月、三一—三三ページ)
- 横井陽一「中国の石油・石油化学産業の「十・五」計画と将来展望」(『化学経済』五、七、八、九、十、十一月各号、化学経済研究所、二〇〇一年)
- 李志東、神原達、佐藤美佳、喜多智彦、堀井伸浩「中国のエネルギー事情」(『エネルギー・レビュー』第二二卷第二号、二〇〇二年二月、六一—二八ページ)
- 宮森悠「中国のエネルギー産業と政策」(1)(2)(『ペトロテック』第二五卷第二号、石油学会、二〇〇二年二月、六〇—六六ページ、第二五卷第三号、二〇〇二年三月、五七—六三ページ)

ージ) ⑪

佐藤美佳「驚くべき変貌を遂げた中国国有石油会社の民営化―「大釜の飯」の喪失」(『石油／天然ガスレビュー』第三五卷第三号、石油公団、二〇〇二年五月、一九―三〇ページ) ⑬

竹下美佳「中国国有石油企業、怒濤の国外進出―NOCの企業戦略と国家戦略の微妙な関係」(『石油／天然ガスレビュー』第三五卷第四号、石油公団、二〇〇二年七月、一三一―二三ページ) ⑬

3. 中国で出版された単行本

陳正祥『中国的石油』天地圖書有限公司、香港、一九七九年。

候祥麟編『中国頁岩油工業』石油工業出版社、北京、一九八四年。

張万欣主編『当代中国石油化学工業』中国社会科学出版社、北京、一九八七年。①

焦力人主編『当代中国的石油工業』中国社会科学出版社、北京、一九八八年。①

王慶一主編『中国能源』冶金工業出版社、北京、一九八八年。

李国玉等編『中国油田図集』石油工業出版社、北京、一九八八年。

李国玉等編『中国気田図集』石油工業出版社、北京、一九八八年。

『中国煉油工業』編集委員会編『中国煉油工業』石油工業出版社、北京、一九八九年。⑩

『中国石油工業』編集委員会編『中国石油工業 1949-1989』(写真集)石油工業出版社、北京、

一九八九年。

陳炳泉・劉剛毅・王樹人編『中国石油工業 (1949-1989)』石油工業出版社、北京、一九九〇年。
王仰之編著『中国石油編年史』石油工業出版社、北京、一九九六年。

塔里木石油勘探開發指揮部、新疆石油管理局塔西南勘探開發公司編『塔里木石油年鑑 1995』新

疆人民出版社、烏魯木齊、一九九六年。⑨

邱中建、龔再升主編『中国油氣勘探』第一卷 總論、第二卷 西部油氣區、第三卷 東部油氣區、
第四卷 近海油氣區、石油工業出版社、地質出版社、北京、各卷一九九九年。

「中国海洋石油物探」編寫組『中国海洋石油物探 1960-1999』地質出版社、北京、二〇〇一年。⑧
中国石油学会經濟產業委員会「中日石油經濟研討會論文集」二〇〇一年。

『中国石油天然氣工業年鑑』(各年版)⑨

『中国石油化工總公司年鑑』(各年版)⑩

『中国能源統計年鑑』(各年版)

『中国統計年鑑』(各年版)

4. 英文で刊行された単行本

Wolfgang Bartke, *Oil in the People's Republic of China*, London, C. Hurst & Co., 1977, p. 125.

Randall W. Hardy, *China's Oil Future: A Case of Modest Expectations*, Boulder, Colorado, Westview Press, 1978, p. 148.

Kenneth Lieberthal and Michel Oksenberg, *Bureaucratic Politics and Chinese Energy Development*,

- Center for Chinese Studies, The University of Michigan (Prepared for the Department of Commerce) August 1986, p. 405. ㉟
- Kenneth Lieberthal and Michel Oksenberg, *Policy Making in China, Leaders, Structures, and Processes*, Princeton University Press, Princeton, New Jersey, 1988, p. 445. ㉟
- Takashi Saito, *Oilfield Development in China*, Japan National Oil Corporation, Technology Research Center, TRC Special Publication No. 1, 1992, p. 134.
- Keun-Wook Paik, *Gas and Oil in Northeast Asia, Policies, Projects and Prospects*, London, The Royal Institute of International Affairs, 1995, p. 274.
- Quan Lan and Keun-Wook Paik, *China Natural Gas Report*, The Royal Institute of International Affairs and China OGP Xinhua News Agency, 1998, p. 142.

5. 英文で発表された論文、解説など

- Tatsu Kambara, "The Petroleum Industry in China," *The China Quarterly*, No. 60, Oct./Dec. 1974, pp. 699-719, Contemporary China Institute, University of London. ㉟
- Tatsu Kambara, "The Energy Situation in China," *The China Quarterly*, No. 131, Sept. 1992, pp. 608-636.
- Keun-Wook Paik, "Energy cooperation in Sino-Russian relations : the importance of oil and gas," *The Pacific Review*, Vol. 9, No. 1, 1996, pp. 77-95.

〈参考文献〉

- Tatsu Kambara & K. Suetugu, "Geopolitics and Energy Development in Northeast Asia," *Cambridge Review of International Affairs*, Vol. XII, No. 1, 1998, pp. 114-130. ⑤
- Hu Jianyi et al., "The Geology of Natural Gas in the People's Republic of China: A Review," *Journal of Petroleum Geology*, Vol. 22, No. 2, April 1999, pp. 191-213.
- Larry C. H. Chow, Wings-yin Lo, *Chinese Offshore Oil Production: Hopes and Reality*, Journal of International Development and Cooperation. IDEC, Hiroshima University, Vol. 7, No. 2, 2001, p. 85.
- Keun-Wook Paik, "Natural Gas Expansion in China," *Geopolitics of Energy*, Issue24, No. 5, May 2002, pp. 1-11.
- Philip Andrews-Speed, "Xuanyi Liao and Roland Dannreuther : The Strategic Implications of China's Energy Needs," The International Institute for Strategic Studies, Oxford, Adelphi Paper 346, July 2002, p. 115.
- Shen Pingping et al., "Frontiers and Outlook of Future Exploration in China," 17th World Petroleum Congress, Rio de Janeiro, September 2002.